

中国法制史



[中国法制史 下载链接1](#)

著者:寺田 浩明

出版者:東京大学出版会

出版时间:2018-1-25

装帧:一

isbn:9784130323871

一元的な全国統治と市場的・契約的な社会を世界史上さきがけて確立した中国は、いかなる法秩序を備えていたのか——社会の一般的特徴の析出にはじまり、民事・刑事の法と裁判のありかた、さらには近代法の新たなモデルなど、伝統中国法の全体像を西洋と日本との比較を踏まえ描き尽くす。第一人者が講義の集大成として書き下ろす、待望のスタンダード・テキスト。

作者介绍:

目录: 主要目次

序章 伝統中国の法秩序（本講の二つの課題／皇帝・紳士・民）

第一章 人と家（家／人／宗）

第二章 生業と財産（管業／服役／租佃／所有権秩序の特質）

第三章 社会関係（空間編成／社会的結合）

第四章

秩序・紛争・訴訟（社会秩序の考え方／紛争とその解決／国家裁判機構の概要）

第五章

聴訟――裁判と判決の社会的基礎（聴訟の展開過程1――標準的展開／聴訟の展開過程2――付随的な諸展開／聴訟の規範的構造／ルール型の法と公論型の法）
 第六章
 断罪――犯罪の処罰と判決の統一（命盗重案の処理1――州県が行う作業／命盗重案の処理2――覆審の過程／律例とその働き方／成案の扱い／判決の基礎付けと判決の統一）
 第七章
 法・権力・社会（法内容を語る場所／心中にある法の社会的共有／規範的結合の実態）
 第八章 文明を跨いだ法の語り方（人間関係と制度的関係／中国と近代法）
 おわりに
 ・ ・ ・ ・ ・ (收起)

[中国法制史_下载链接1](#)

标签

[法制史](#)

[法律史](#)

[社会史](#)

[海外中国研究](#)

[法律](#)

[明清史](#)

[日本汉学](#)

[日本](#)

评论

中文版还没出，先看了没出版的真的美滋滋//怀揣着“探求一种不受限于西方法律传统

的、崭新的法的论述方式”的伟大目的的寺田浩明教授最后建立了有趣的三维度：裁判基础赋予、判决的统一、人际关系与制度性关系～//key words：规则型法与公论型法

作为教科书挺好的，据我观察学部的学生们也很喜欢....

非常鞭辟入裏的一本書。作者雄心勃勃，試圖勾畫出成體系的傳統中國法律制度。因此不但深入淺出地介紹了清代法律制度，還剖析了法律制度背後的社會觀念。解答了我對國人（包括我自己）的不少疑惑。（為什麼無理也要爭三分？為什麼忸怩於權利的伸張？）本書也可以反駁「傳統中國／傳統日本不曾存在真正的法律制度」之類偏激的論調，化解逆向民主主義的毒素。

[中国法制史_下载链接1](#)

书评

作者简介：孔令伟，美国哥伦比亚大学东亚系博士候选人、日本京都大学文学研究科外国人共同研究者。
在今日的中国法制史学界中，原京都大学法学部教授寺田浩明可说是一位几乎无人不晓的代表人物。他关于中国法制史的著作，不仅史料功底扎实，且深有洞见。在大量且细致的个案研究...

[中国法制史_下载链接1](#)